

軍極秘

武功調査委員自設
十二空機密第二八號、一三別冊

昭和十六年五月二十六日

六月十七日送付

南鄭
天水
攻撃戰鬪詳報

第十二航空隊



0615

一、二、三、四、五、六、七、八

目次

附圖第三	附圖第二	附圖第一	功績	所見	我が兵力、現状	成果	経過	攻撃計畫	受領セル命令	形勢
行動圖 (南方隊)	行動圖 (北方隊)	彈着圖								

0616

附表第一	飛行機隊編制表
附表第二	死傷者調査表
附表第三	兵器消耗調査表
附表第四	燃料、潤滑油消費調査表
附表第五	電報發受信誌寫

(終)

0617

一、形勢

(一) 我が零戦隊ノ實施セル數回ノ奥地攻撃ニ依リ知ルル所ニテ
ノ敵空軍ハ我が攻撃ニ際シテハ專ラ逃避ヲ事トシ航空
兵力ノ保存ニ努メツ、アルモノノ如シ

(二) 情報ニ依ルハ本月二十二日敢行セラレタル成都攻撃ニ依リ
戦意ナキ敵E-15三型戦機十八機ハ同日成縣ニ逃避
セル後翌二十三日南鄭ニ到着セルモノノ如シ

(三) 情報ニ依ルハ本月二十二日以降成都南鄭間及ヒ天水瓜
縣南鄭間ノ輸送機ノ往復頻數ナリ
又本月二十日ノ成都攻撃ニ依リ敵軽爆數機ハ南鄭ニ逃
避セル情報アリ 今回モ敵軽爆ノ南鄭逃避或ハ進出ノ懼レ
アリ

二、受領セル命令

(一) 機密中又空電令作第九號(一七一五ト二四)

明二十五日左ニ依リ攻撃ヲ實施ス

(イ) 二十一基地部隊ハ指揮官ノ定ムル所ニ依リ重慶、南鄭方面、敵航空兵力ヲ奇襲竝ニ軍事施設ヲ攻撃スベシ

(ロ) 元空中攻隊ハ司令所定ニ依リ南鄭航空基地施設又ハ重要軍事施設ヲ攻撃スベシ

(ハ) 北方隊ハ指揮官所定ニ依リ零戦隊ヲ以テ南鄭方面攻撃ノ南方零戦隊ニ策應シ成縣、天水ノ敵航空兵力ヲ奇襲スベシ

(二) 通信

(イ) 南鄭、成縣、天水方面奇襲及攻撃隊(リタ〇七)

(ロ) 重慶奇襲隊(リタ〇三)

0619

(二) 機密中支空電令作第一〇號(一七―五―二五)
 本日、攻撃ヲ明日ニ延期ス

三、攻撃計畫
 (一) 兵力区分

攻撃隊	戦隊				偵察機	区
	南方隊	南方隊	北方隊	北方隊	南方隊	分
	第一誘偵隊	第一戰鬥隊	第二誘偵隊	第二戰鬥隊		指揮官
	駒形大尉	佐藤大尉	鈴木大尉			兵力
	九	九	二	二	陸偵一	任
	南鄭飛行場軍機收容	南鄭方面所在敵機捕獲	南鄭方面所在敵機收容	天水成縣方面所在敵機捕獲	宜昌南鄭間天候及敵情偵察	務
	〇〇〇	〇〇〇	二〇〇	〇八〇	〇八〇	行
	全	宜昌―南鄭―宜昌	運城―天水―成縣	宜昌―南鄭―宜昌	宜昌	航
	右					路動

(二) 空戦

當隊戰鬥機隊戰鬥字則ニ依ル

(三) 爆撃

(一) 目標 南鄭飛行場内敵機並ニ軍事施設

(四) 使用爆弾 七番六號爆弾 各機ニ發

六番陸用爆弾 各機四發

(三) 爆撃法 編隊水平爆撃 高度三五〇〇米

(四) 偵察

高々度隱密偵察 偵察高度七〇〇〇米以上

(五) 通信

中支空命令作第二八號第五項ニ依ル

四. 経過

(一) 天候偵察機

〇八〇五 二十一基地發進、天候曇、雲高五〇〇〇米、視界五哩
〇九五〇 南鄭南西五〇哩、ヨリ北ニ迂回シテ天候ノ回復ヲ待
一〇三〇 南鄭偵察

附近天候曇量五、雲高五〇〇〇〜七〇〇米、視界五哩

西飛行場ニ小型機三機ヲ認め

附近空中敵機ヲ認め

偵察終了、返途ニ就ク

一〇五〇
一二〇〇 二十一基地返着

(二) 第一戰鬥機隊

一〇〇〇 二十一基地發進

一一一五 石泉上空

一一三〇 南鄭上空着、空中ニ敵ヲ見ズ

地上ニ小型機五機ヲ認メ、三小隊攻撃ニ移リシモ四機ナ
リシヲ以テ攻撃ヲ中止、集合石泉ニ向フ

一一五五

一一一〇

一一三七

一四一七

石泉上空ヨリ南鄭ニ向フ

南鄭上空着、二三〇ト変化ナシ

城固上空ニ集合、返途ニ就ク

二十一基地返着

二小隊ハ南鄭ニ於テ上空制壓中、艦攻一機ヲ認メ敵機
ト誤認之ヲ追躡中、中隊ト分離、單獨返途ニ就キ、四
二〇二十一基地返着

(三) 第一誘導偵察機

一一〇〇

一一〇七

一一一五

二十一基地發進

發電機電壓降下シ送受信不能

豫備機ト交換、二十一基地發(戰鬥機隊單獨先發)

一二五五

雲ノ為機位ヲ失シ廣元ヲ偵察

廣元 天候曇 雲量大 雲高二〇〇〇米

東西兩飛行場空地共敵機ヲ認めズ

南鄭偵察附近天候晴 雲量ニ 雲高一五〇〇米

一三二〇
一三三五

西飛行場中型二機、小型三機ヲ認め、中型機ハ四機ヲ認め

ハ空中敵機ヲ認めズ、東飛行場空地共敵機ヲ認めズ

一三三五

偵察終了、返途ニ就ク

一五〇〇

二十一基地返着

四) 第二戰鬥機隊 第二誘導偵察機

一一〇〇

十五基地發進

一二三〇

尺水上空着、三小队三機高度ヲ低下天水飛行場

偵察セルモソ、隊本隊ヲ見失ヒ分離ス、二番機ハ三

合同、一三番機敵約二十機ト空戦(一二四〇、一二二〇)

一四一五十五基地返着

一二四五 本隊成縣北方約一〇哩附近ヨリ天水ニ逆航

一三三〇

天水東飛行場地上十八機ニ地上攻撃手ニテ悉ク炎上

一四〇〇

一五三〇 十五基地返着

戦斗概要

一一〇〇十五基地發進離陸直後二四小隊長機故障、為飛行場ニ着陸セルモ四小隊長機ハ故障復舊シ直ニ本隊ノ跡ヲ追ヒ天水ニ向フ。

一二三〇本隊天水着、東飛行場偵察ノ目的ヲ以テ三小隊ハ本隊ト分離シ、高度ヲ低下偵察、結果地上敵機ヲ認メズ

然ルニ此ノ時三小隊ニ番機ハ小隊長機ト離レタルヲ以テ小隊長、之ヲ合同セシメントシテ追跡スル内、三小隊ハ本隊ト離隔シ電話連絡

不能トナリタルヲ以テニ番機ト、合同ヲ断念シ直ニ本隊ノ跡ヲ追ヒ
タリ。此ノ頃先ニ發進遅レタル四小隊長機ハ途中三小隊ニ番機ヲ
收容シ本隊ニ合同セリ

三小隊一、三番機ハ本隊ニ續航スル内一ニ三五頃天水西南方一〇哩高
度四〇〇米ノ地点ニテ右前方二〇〇米劣位ニアル敵E-19戰鬥機ノ
九機編隊ヲ發見シ直ニ電話ニテ本隊ニ報告シツソ之ニ向ヒ突撃
シ戦端ヲ開始ス。空戦中優位ヨリ更ニE-19戰鬥機一〇機、増
勢シ來リ味方ニ機ハ優勢ナル敵ニ對シテ協力一致勇戦奮テ
一番機ハ三機、三番機ハ二機ヲ撃墜セルモ一三〇〇頃ニ到リ一番機、三
番機ニ不安ヲ感ジ遂ニ之ヲ誘導シテ戰場ヲ離脱セリ。更ニ燃料ニ
對スル不安並ニ三番機ニ被彈アルヤノ疑念アリタルヲ以テ直ニ返途ニ
就キ一四一五十五基地ニ返着ス

本隊ハ三小隊ト分離セル儘豫定ノ如ク成縣ニ向ヒタルモ視界

0626

不良、爲成縣飛行場ヲ發見シ得ズ更ニ天水ヘ引返セリ
一三二〇頃天水上空ニ達シ東飛行場ニ着陸直後ト認メラルルE
19戰鬥機一七機及S.B.爆撃機一機ヲ發見之ニ攻撃ヲ加ヘ
悉ク炎上セシメタリ。一四一〇天水發取途ニ就キ一五三〇十五基地
ニ取着ス

尚本戰鬥經過中四誘偵ハ分離セル三小隊ヲ天水上空ニテ
待合セ中東飛行場上空高度五〇〇〇米ニE19戰鬥機約一〇
機ヲ發見直ニ誘偵ニ連絡セルモニ誘偵受信機狀態不良ニ
テ了解スルニ到ラズ。其ノ内敵E19三機ノ攻撃ヲ受ケ避退セ
ルモ追躡ヲ免レ得ズ針路ヲ南方ニトリ微縣西方ニ到リ漸ク
離脱シ爲ニ本隊ト分離ル後成縣東方ヨリ天水ヲ経テ一四一五
取途ニ就キ一五五〇十五基地ニ取着セリ。

0627

(五) 第四誘導偵察機

一二三〇 天水上空着道ハ戦斗機隊ニ合ジ

一二三五 天水ノ偵察終了シ一二三五成縣ニ定針シトルモ味方戦

斗機ニ機未カ合同シ居ラホリシ急誘導ノタメ反轉ヘ

一二三七 天水東飛行場上空高度五〇〇〇米ニE19三機五五〇〇米

附近ニ合ジノ約七機程度ヲ認メ直ニ二誘偵ニ之ヲ通報ス

一二四〇 敵E19三機ヨリ攻撃ヲ受ケ直ニ反轉避退スルモ追

撃ヲ免レヤ針路ヲ南方ニトル

一二五〇 敵戦斗機ヨリ追撃ヲ免ル地点徽縣西方直ニ成縣ニ

向フ

一四〇〇 成縣東方直ニ天水ニ向フ

一四一五 天水東飛行場ニ敵機五機程度炎上中

一五五〇 十五基地返着

五、成 果

(六) 攻 撃 隊

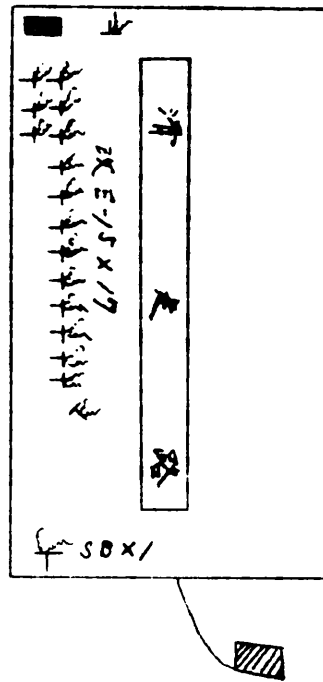
〇九五〇
 〇九五五
 一一〇〇
 一一四〇
 一一四五
 一一五〇
 一一五三
 一三三〇
 一四〇〇

二十一基地發進 天候雲量一〇、雲高三五〇〇米、視界一〇哩
 二十一基地發進
 油漏洩、為引返ス
 南鄭上空着、天候雲量四、雲高一〇〇〇米、視界一五哩
 南鄭上空着
 爆 擊
 高角機銃、地上砲火アリタルモ被害ナシ
 二十一基地着
 二十一基地着

(三) 偵察
 天水東飛行場前記ノ通リ

天水東
 飛行場

(一) 空戦
 撃墜五機 (確實)
 (二) 地上銃撃
 炎上一八機 (確實)



0630

ノ 63D	2.3 63D	1.3 610 62D	敵軍 南鄭市街西地区 事施設	南鄭西飛行場引込 線附近敵軍事施設	小隊 爆撃目標	七番六號爆彈二發 六番陸用爆彈四發、全彈 目標及其附近、彈着ニテ所炎上、効果甚大	七番六號爆彈 一四發 六番陸用爆彈 二八發 全彈目標及其附近、彈着ニテ所炎上 効果甚大	効 早
----------	------------	-------------------	----------------------	----------------------	------------	--	--	--------

(四) 爆撃成果(彈着圖参照)

銃撃成果寫真偵察

認め

天水西飛行場地上敵機ヲ認め
天水上空敵戰鬥機(巨小改)約一〇機内三機ヨリ四誘偵追躡ヲ
受テ殘餘ノ機ハ後刻東飛行場ニ着陸銃撃ヲ受テ炎上ニシト

大. 我が兵力ノ現状

(一) 被害

二戦 2/20 (一三五號) 胴体被弾 一發 (七、七粒)

(二) 故障状況

(1) 攻撃隊

1/63D (三二二號) 車輪パンク、為出發遅ル

2/61D (三〇一號) 油漏洩、為引返ス

(2) 機銃故障状況

三〇粒		区分	機番號	故障状況	原因
一五八 (一五戦)	突込弾 尾栓頭薬莖上面ヲ突テ尾栓中 途停止		一三八 (二二戦)	尾栓頭薬莖底縁ヲ銜ヘズシテ押込 ル儘前進、尾栓前縁ニ停止、彈薬已 藥莖内ニ残存ス	不良給彈
					彈薬已停止不良

0632

(三) 翌日、使用可能機数

(1) 南方隊

零式艦戦

九機

九七艦攻

全機

九八陸偵

五機

(2) 北方隊

零式艦戦

一二機

九八陸偵

三機

七. 功績

(一) 天候偵察機

戦闘隊攻撃隊發進ニ先ケ進撃ヲ航路上ノ天候ヲ詳細偵察
シ尔後、戰鬥ニ資スル所甚大ナリ

0633

功績顯著ナリ

(二) 第一戰鬥機隊

相當不良ノ天候ヲ冒シテ進撃敵機所在セホリシタメ奮勇果ハ收メ得ホリシモ敵ヲシテ天水ノ方面ニ逃避スルノ止ムナキニ至ラシメ且長時間ニ亘リ敵基地上空ヲ制壓之ニ大ナル脅威ヲ與ヘタリ
功績顯著ナリ

(三) 第一誘導偵察機

電信機不具合ヲ豫備機ト取換發進セシメ一戰ト合同シ得ル之ヲ誘導シ得ホリシモ概ネ所命任務ヲ遂行セリ
功績大ナリ

(四) 第二戰鬥隊 (三四誘導ヲ含ム)

天氣良好ナルモ濃氣深ク視界狭小ノ中ヲ進撃所命地点ヲ急襲シ天水ニ於テ敵機二十餘機ヲ發見全軍一致協力シ勇戦力ナ

遂ニ空中戦斗ニ依リ五機ヲ撃墜、地上銃撃ニ依リ十八機ヲトモセ
シメ同地所在機ヲ殲滅セリ

功績特ニ顯著ナリ

五攻撃隊

不良天候ヲ冒シテ進撃、所命地点ニ對シ極メテ有効ナル爆撃ノ

敢行甚大ナル戦果ヲ收ム

功績顯著ナリ

八新見

從來、我零式戦斗機隊、攻撃ニ際シ敵航空部隊ハ常ニ逃避

ヲ以テ航空兵力ノ保存ニ努メツツアルハ明瞭ナリ

本攻撃隊ハ南北両戦斗機隊ノ協同連繫ノ下ニ敵ノ企圖ニ裏ヲ祖

ヒテ實施セラレソルモノナリ

0635

即チ豫メ情報並ニ偵察機隊ノ協力ニ依リ敵戦斗機部隊ガ蘭
州・成都間中継基地トシテ常用シタル天水南鄭廣元方面ニ潛在シテ戦斗
機部隊ガ蘭州・成都方面ノ攻撃ヲ回避セント企圖シツアルヲ看破シ南北西部隊
緊密ニ協同連撃ノ下ニ能ク敵機ヲ捕捉之ニ重大ナル打撃ヲ與ヘタリ。

本戦果並ニ戦斗経過ヲ按ズルニ

(一) 戦果ヲ舉ゲ保タル一大原因ハ作戰方針適切ニシテ完全ニ敵ノ虚
ヲ衝キタルニ在リ。

(二) 當日ノ天候不良ニシテ特ニ視界ノ狭小爲ニ益々奇襲効果ヲ大
ナラシメタリ。

(三) 從來十二空零戦隊ノ戦果ノ跡ヲ見ルニ敵ノ逃避ニ疲レ飛行場
ニ匿着セル時機ヲ俟ツテ之ヲ捕捉撃滅セルヲ例トス。今史攻撃ニ於
テ南北中攻部隊ノ四川・甘肅兩方面ノ攻撃ト南方隊戦斗機ノ
南鄭方面ニ對シテ與ヘタル脅威及北方隊ノ天水威嚇更ニソノ

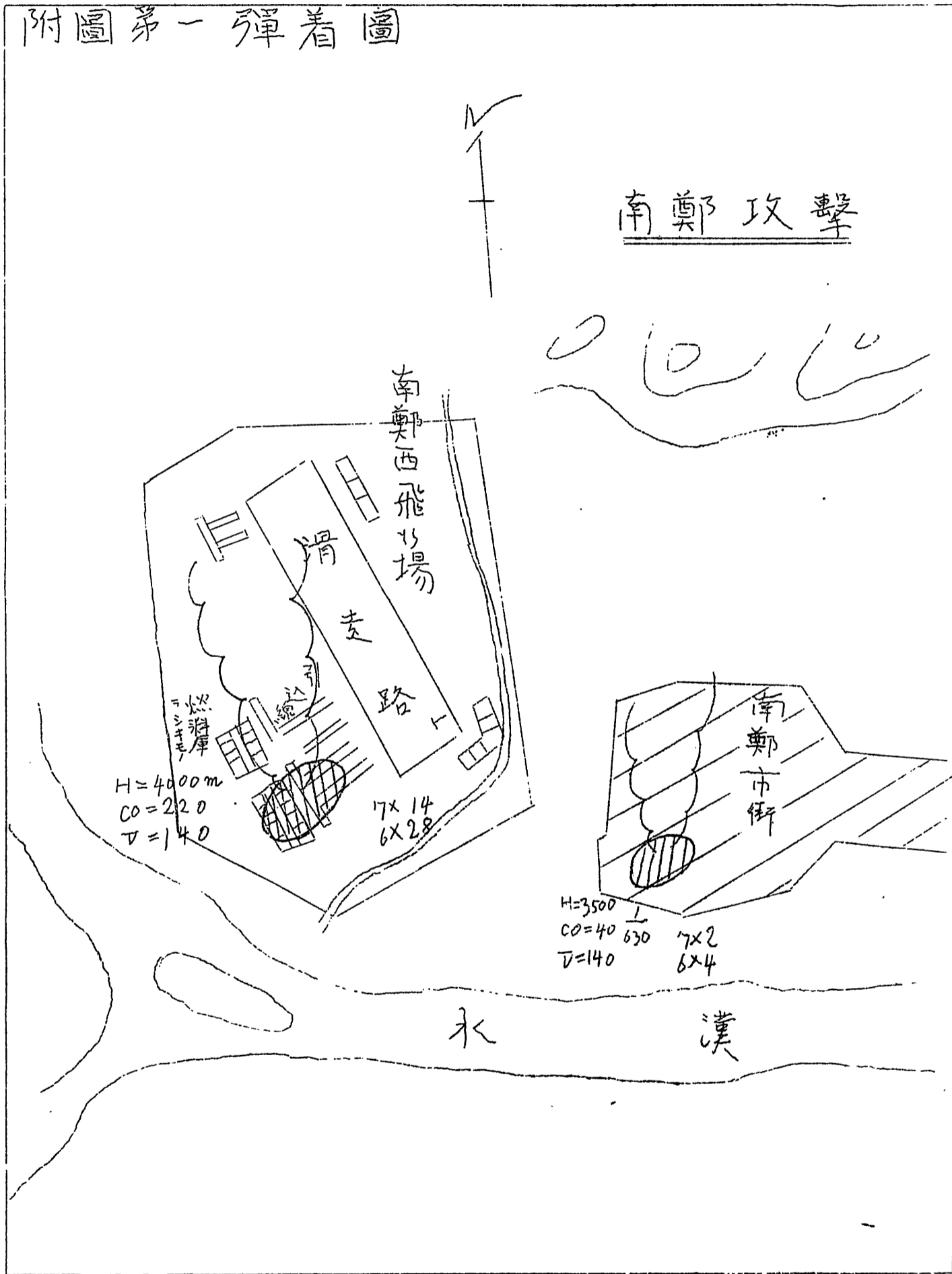
0636

一部ノ空戦等全テ敵機ヲ逃避奔命ニ疲ラシメタルモノニシテ此ノ
 機ニ當リ北方戦斗機隊ハ天水方面ニ執拗ニ喰ヒ下リタルハ正ニ機
 宜適切ナル作戦ト言フベク戦果ノ依ツテ來ル所以ナリ
 (四) 本戦斗經過ノ跡ヲ見ルニ戦果ノ依ツテ來ル所天運ニ俟ツコト
 大ニシテ之即チ御陵威ノ至ス所ト感銘深シ
 (五) 現下ノ敵機ノ如ク我進攻ニ對シ戦々競々トシテ逃避ヲコレ事
 トシ居ル敵情ニ對シテハ今次戦法ノ如キモノヲ次々ニ案畫奇襲
 又ハ強襲ヲ以テ敵ノ裏ヲ搔ク如キ作戦ニ出ルコト必要ナリト
 認ム

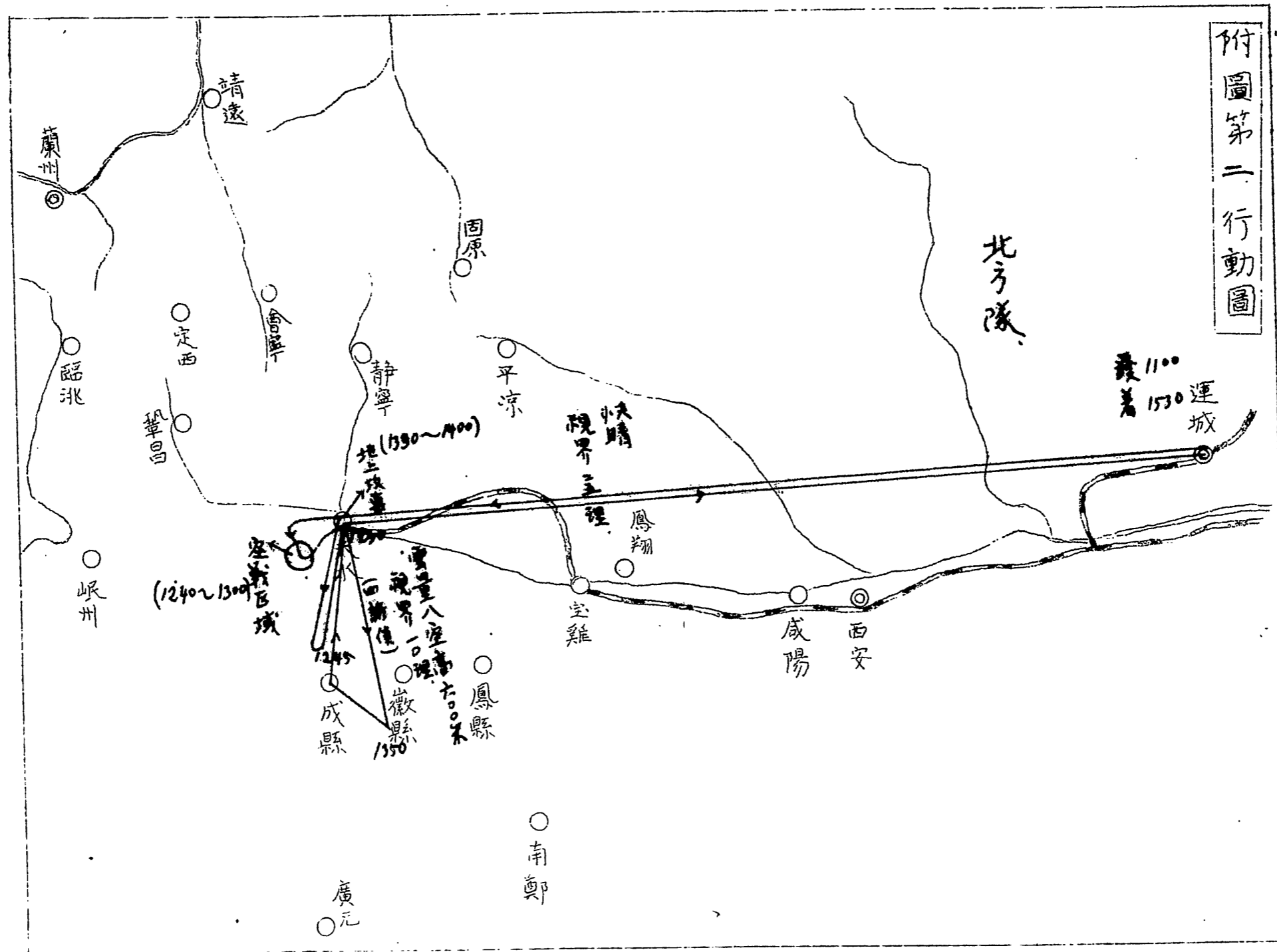
(終)

0637

附圖第一 彈着圖

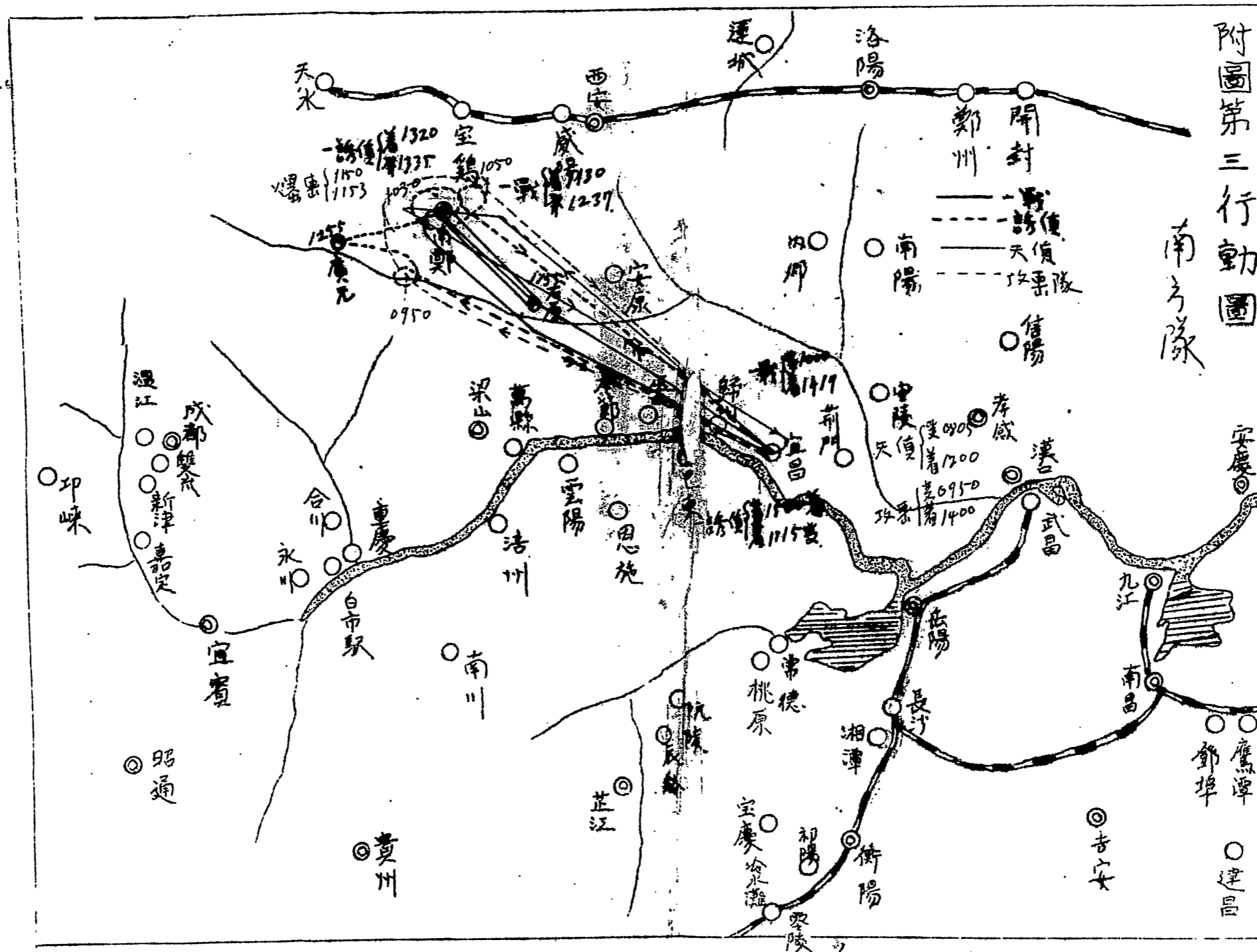


0638



附圖第二 行動圖

0639



0640

附表第一飛行機隊編制表

隊機斗戦一第										一 誘 領	天 領	又 分	指 揮 官
海軍大尉 佐藤正夫													
3D			2D			1D						小 隊	
一空曹 宮崎儀太郎			中尉 山下丈二			大尉 佐藤正夫							長
一 五 七	一 五 二	一 五 九	一 五 五	一 五 三	一 六 〇	一 五 一	一 五 八	一 六 一	八	七	機 番 號		
二 空 曹 倉 富 博	二 空 曹 河 野 丈 次 郎	一 空 曹 宮 崎 儀 太 郎	二 空 曹 菊 池 利 生	二 空 曹 佐 伯 義 道	二 空 中 尉 山 下 丈 二	二 空 曹 横 川 一 男	一 空 曹 杉 尾 茂 雄	大 尉 佐 藤 正 夫	二 空 曹 森 田 稔	三 空 曹 高 橋 武 志	標		
									大 尉 阿 部 平 次 郎	三 空 曹 田 中 平 雄	領		

0641

隊 斗 戦 二 第												
海軍大尉 鈴木 實												
40		30			20		10		四勝	二勝		
大石 英男 <small>一 空曹</small>		中瀬 正幸 <small>一 空曹</small>			武本 正實 <small>二 空曹</small>		鈴木 實 <small>大尉</small>					
一四一	一四〇	一三九	一三八	一三七	一四三	一三五	一三三	一三一	一三六	一四一	一	六
松本 善平 <small>一 空</small>	森 壽 <small>二 空曹</small>	大石 英男 <small>一 空曹</small>	中塚 國盛 <small>三 空曹</small>	井手 末治 "	中瀬 正幸 <small>一 空曹</small>	中瀬 茂 <small>一 空</small>	武本 正實 <small>二 空曹</small>	昇地 正一 <small>一 空</small>	小島 保 <small>二 空曹</small>	鈴木 實 <small>大尉</small>	浜藤 俊雄 <small>三 空曹</small>	中畑 信平 <small>二 空曹</small>
										三 空曹 徳永 英司	三 空曹 石川 流高	

0642

十
シ
附表第二 死傷者調査表

隊 擊 攻									込分
尉 大 軍 海									指揮官
也 進 形 駒									
630			620			610			小隊
本 中 團 村 真 砂 大 夫			美 中 坐 村 正 己			駒 大 形 尉 進 七			小 隊 長
三一 五	三一 一	三〇 五	三〇 七	三〇 六	三〇 八	三〇 三	三〇 一	三〇 二	機 香 號
山 空 下 清 則	田 空 平 幸 男	本 中 團 村 真 砂 大 夫	関 空 德 治	佐 空 藤 份	三 空 好 正 之	荒 空 澤 辰 雄	大 空 久 保 優	大 空 駒 形 進 七	標
高 空 橋 善 一 郎	野 空 口 松 五 郎	日 空 木 四 郎	松 空 山 弥 高	一 空 條 信 一	美 中 坐 正 己	川 空 畑 小 台	小 空 林 義 美	空 長 坂 信	須
松 空 下 台 明	小 空 野 一	大 空 江 道 大	谷 空 日 部 満 義	若 空 森 樂 森	福 空 島 凌 男	三 空 宮 日 長 吉	三 空 中 原 善 市	三 空 因 本 安 三 郎	電

0643

附表第三兵器消耗調査表

六番陸用爆彈 三二發
 七番六號爆彈 一七發

機銃彈

合計		曳跟彈	曳跟彈	曳跟彈	彈種	二〇
一一〇三發	二五九發	六一發	七八發	一三〇發	一戰	七
	八四四發	二一一發	二一一發	四二二發	二戰	
合計		燒夷彈	曳跟彈	徹甲彈	彈種	七
四一五發	四二五發	一〇六發	一〇六發	二一三發	一戰	七
	三七〇發	七四〇發	七四〇發	二二二〇發	二戰	

附表第四燃料潤滑油消費調査表

五月二十六日
 着信者 610
 送信者 天 頃 0945
 發受時刻 南 鄭 半 晴 上 層 雲 量 五 雲 高 八 〇 〇 米 視 文
 附表第五電報發受信誌寫

合計	攻撃隊	二戰	一戰	四塔偵	二塔偵	一塔偵	天偵	区余
二〇五〇立				六五〇立	五五〇立	四五〇立	四〇〇立	八七揮發油
一七四二五立	四三〇〇立	七三八〇立	五七四五立					九二揮發油
二六九〇立	七〇〇立	一〇〇〇立	八八〇立	三五立	二五立	三〇立	二〇立	航空鑛油

0645

〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	四誘偵	十五	〃	〃	二十一 610	〃
〃	〃	十五	二誘偵	〃	〃	天 偵	〃
一二〇五	一二〇〇	一一五〇	一〇一五	一一〇〇	一〇三五	一〇〇五	〃
ノ 40ハ合同セシヤ	南鄭ノ敵機ハ? ニ逃カル	ノ 40ハ其ノ隊ヨリ四分遅レテ出發セ!	零戦一〇機合同ス 一一一〇	南鄭西飛行場小型機三機 空中敵機ナシ	南鄭東飛行場空地敵機ナシ 返途ニ就	ノ 三一〇宜昌着ノ豫定 一〇五〇	ノ 40ハ合同セシヤ
				南鄭下層雲量五 雲高五〇〇米 視界五	南鄭下層雲量一〇 雲高五〇〇米 視界五	困難 〇九四五	ノ 40ハ合同セシヤ
				界五 渾雲層薄シ 「ミスト」アリ 谷間ニハ復	ハル 〇九四五		

0646

W 二十一	二	三	四	五	六	七	八
一	二	三	四	五	六	七	八
一	二	三	四	五	六	七	八
一三四〇	一四三五	一四三〇	一四二〇	一四一三	一四〇五	一三〇五	一二〇五
零戦合同七機、偵察終了、返途・就 一五〇。互昌返着、豫定一三四〇。	一五一〇。十五基地返着、豫定一四三〇。	斗機ト分離ス。我今ヨリ成縣ニ向ク、一四〇〇。	我天水ヨリ戦斗機ニ追躰セラル。味方戦 零戦九機合同ス返途ニ就ク、一四二〇。	零戦二機返着	天水地上撃破一五機、目下炎上中、一四〇〇。	天水空中敵機一〇機	米一二機編隊飛行中、一二〇〇。

0647